

玄葉大臣発カザクバエフ外相宛メッセージ

貴国と我が国との外交関係樹立20周年に際し、心からお祝い申し上げます。

貴国の独立以来、我が国と貴国との間では極めて良好な関係が築かれてきました。

最近では、昨年3月の東日本大震災に際して、アタムバエフ大統領や閣下をはじめ多くの方々から温かいお見舞い・励ましの言葉と御支援を頂きました。この場をお借りし、改めて感謝いたします。

昨年10月の大統領選挙が平穏に実施され、新政権が発足したことを歓迎するとともに、貴大臣の外務大臣再任を心からお祝い申し上げます。

先に浜田外務大臣政務官が貴国を訪問して述べたとおり、我が国は、貴国における民主化プロセス進展を重視しています。昨年の大統領選挙はキルギスにとって極めて重要な大きなチャレンジでしたが、貴国が見事にそれを乗り越え、民主化に向けて新たな一步を踏み出したことを大変喜ばしく思います。

我が国は貴国の独立以来、民主化・市場経済化を一貫して支援して参りました。引き続き、外交関係樹立20周年を契機とし、今後も貴国、貴国民との関係が更に深化し、発展することを期待しております。

特に本年秋には、「中央アジア+日本」対話・第4回外相会合を日本で開催する予定です。閣下の御参加を得て、この会合を成功させ、この枠組みの下での協力を、閣下と推進していくことを楽しみにしております。

閣下の御健康と御活躍並びに貴国民の御多幸を祈念いたします。

平成24年1月26日
日本国外務大臣 玄葉光一郎

キルギス共和国外務大臣
ルスラン・カザクバエフ閣下